AsiaQuest

Empower to Change

# 2026年12月期 第3四半期
# 決算説明資料

アジアクエスト株式会社

2026年11月13日　証券コード：4261

# Contents


01 会社概要

02 2026年12月期 第3四半期業績

03 株主優待制度

04 成長戦略

05 Appendix


Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 01 – 会社概要



# What's AI Integration

AIインテグレーターとは

## AIネイティブな世界で ビジネスは加速する

AIは単なる業務効率化を超えて、
ビジネスモデルや価値創造の変革の
中心的な存在になっています。
アジアクエストは、高度な技術力を核に
AIネイティブなビジネスの構築を支援し、
企業そして社会のDX化を加速させます。



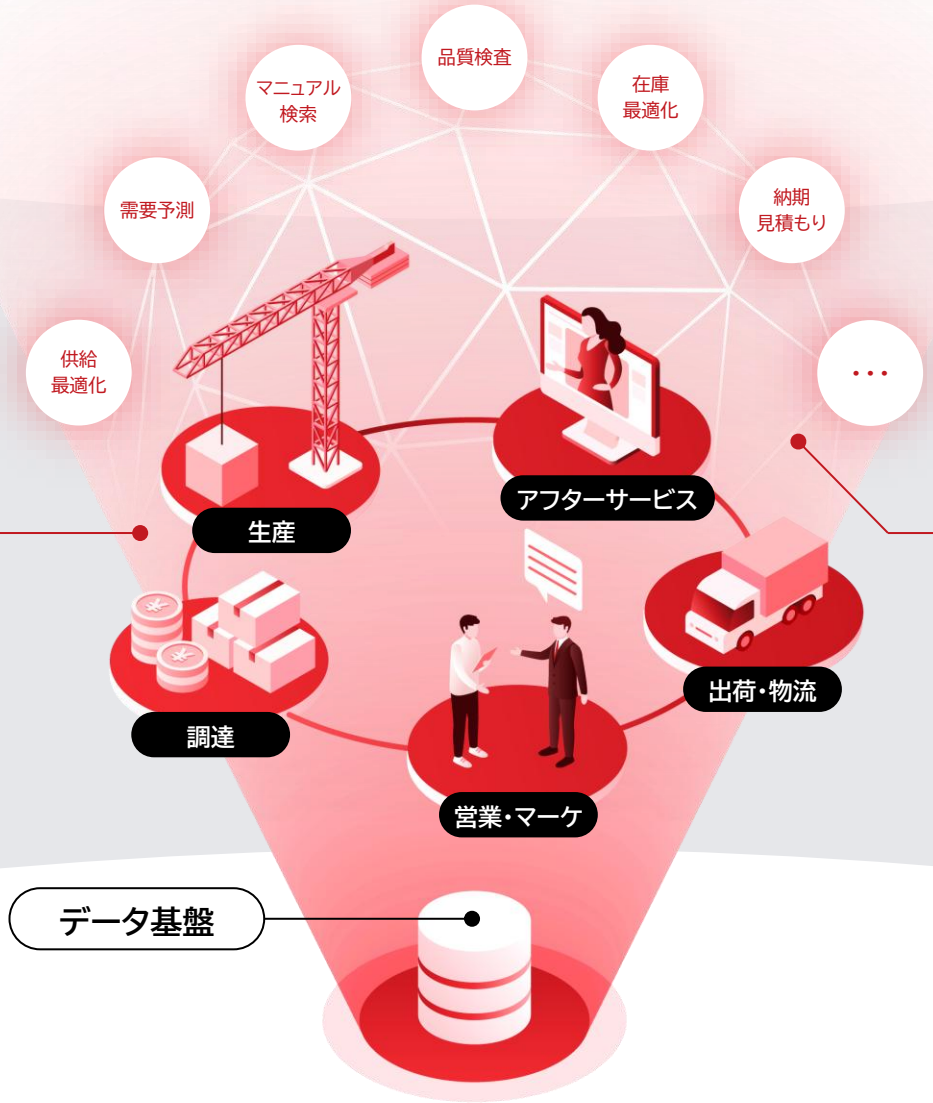

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

アジアクエストは、ビジネス理解に強みを持つ「コンサルティング」と技術領域を担う「モダナイゼーション」、
それらを活用しながらAIを軸にビジネス課題を解決する「AIインテグレーション」の3サービスを提供。

**Consulting**
コンサルティング

＋

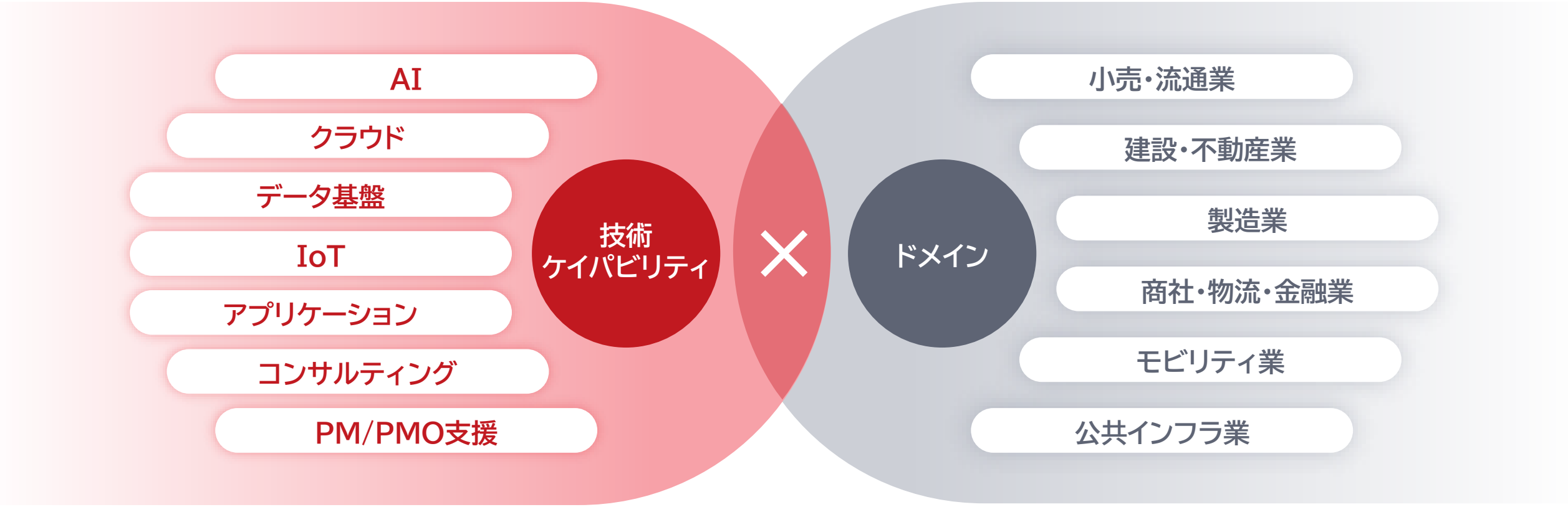
**Modernization**
モダナイゼーション




**AI Integration**
AIインテグレーション

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

広範なデジタル技術の専門性とプロジェクト実績を背景とし、
DXのビジネス実装をゴールとしたDXソリューションを提供。




## 各業界/領域に最適なノウハウと技術ケイパビリティを保有

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# お客様の業界・領域に関するビジネス知見とデジタル技術に精通したプロフェッショナルが、ビジネスとエンジニアリングの両側面から伴走支援。

AIインテグレーター

## 技術力

### Digital

System

販売管理
生産管理
物流管理
調達管理
品質管理

×

Technology

AI
Web
Data
IoT
Cloud

## ビジネスエンジニア



### Business Engineer

Business × Digital × Industry

レビュー
作業指示

顧客ビジネス
要件整理や各種ご提案
成果物の品質担保

Customer

## ドメイン理解

### Business

Supply chain

営業
生産
物流
購買
品質

### Industry

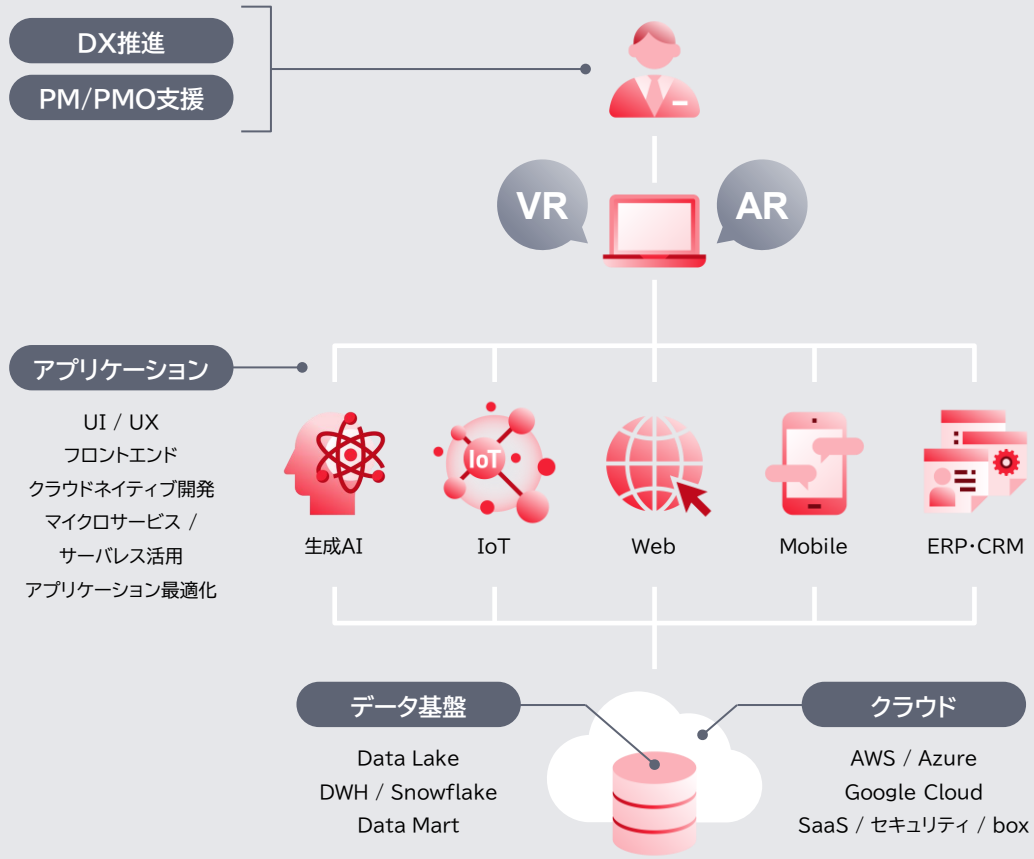
業界

製造
自動車
建設
不動産
流通
小売
社会
インフラ

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

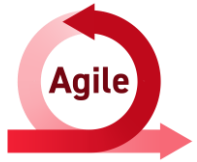
# アプリケーション開発、クラウド、データ基盤まで、AIX/DXに必要な技術ケイパビリティを網羅。
# 加えて、多様なフレームワークから、プロジェクトに合わせた開発体制を構築可能。

## 幅広い技術ケイパビリティ




## 多様な開発手法

### アジャイル開発




スクラムフレームワークによる開発体制

- 柔軟性を重視
- 短い単位でリリース / 小規模チーム
- ユーザー志向 Web サービス

### ウォーターフォール開発



V字モデルによる開発推進

- 計画性重視
- 仕様書を元に厳密な工程管理
- 大規模･安定性を重視したシステム

### CoE構築

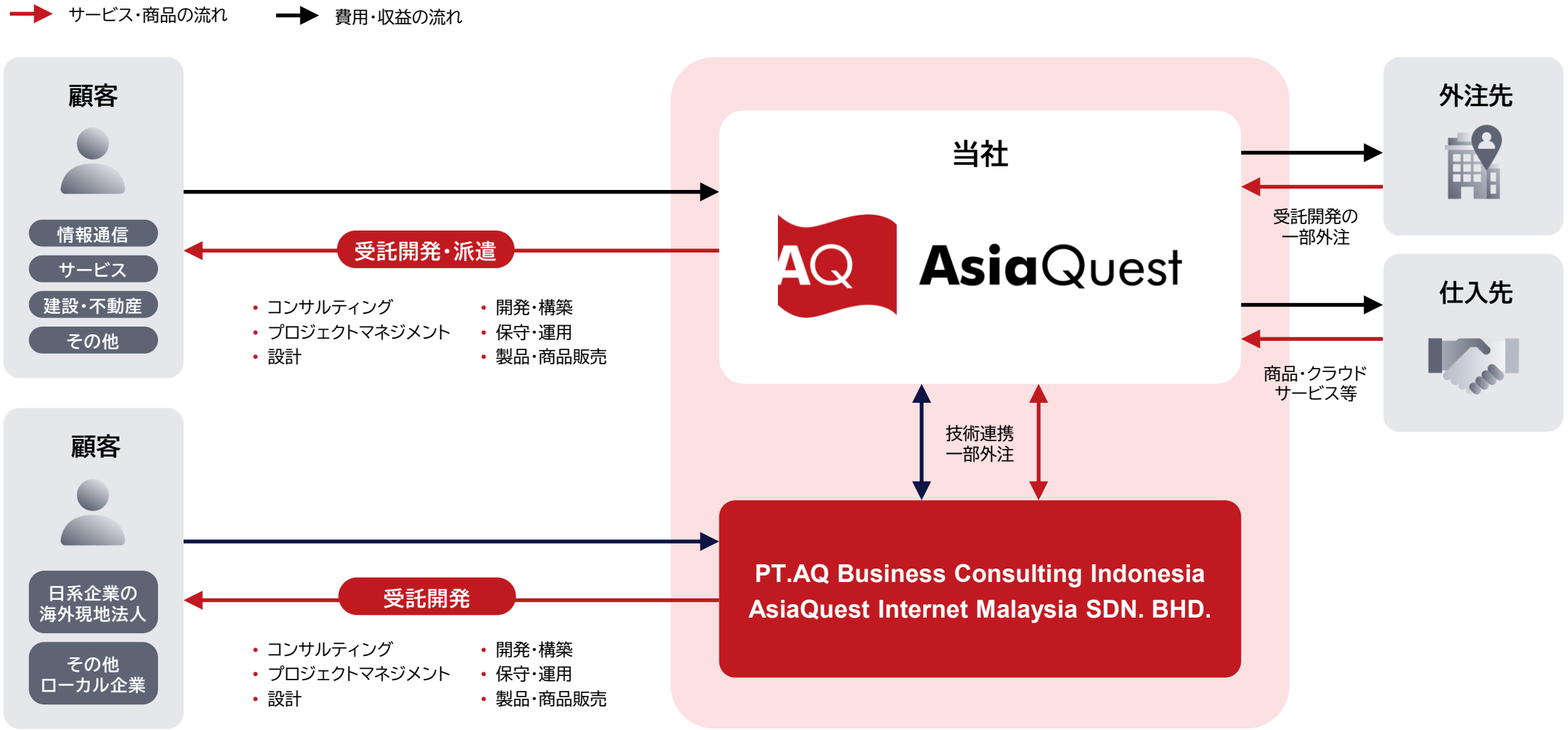



組織構成モデルによる体制化

- 組織横断的な取り組み
- ナレッジ集約とガバナンス整備
- CCoE / DCoE によるDX推進

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 顧客ニーズに応じて、受託開発・派遣を選択。業務範囲も上流から下流まで幅広く対応可能。




Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# ITサービス市場は従来型のITサービス（2ndPF）から新しいIT投資（3rdPF）の時代に。

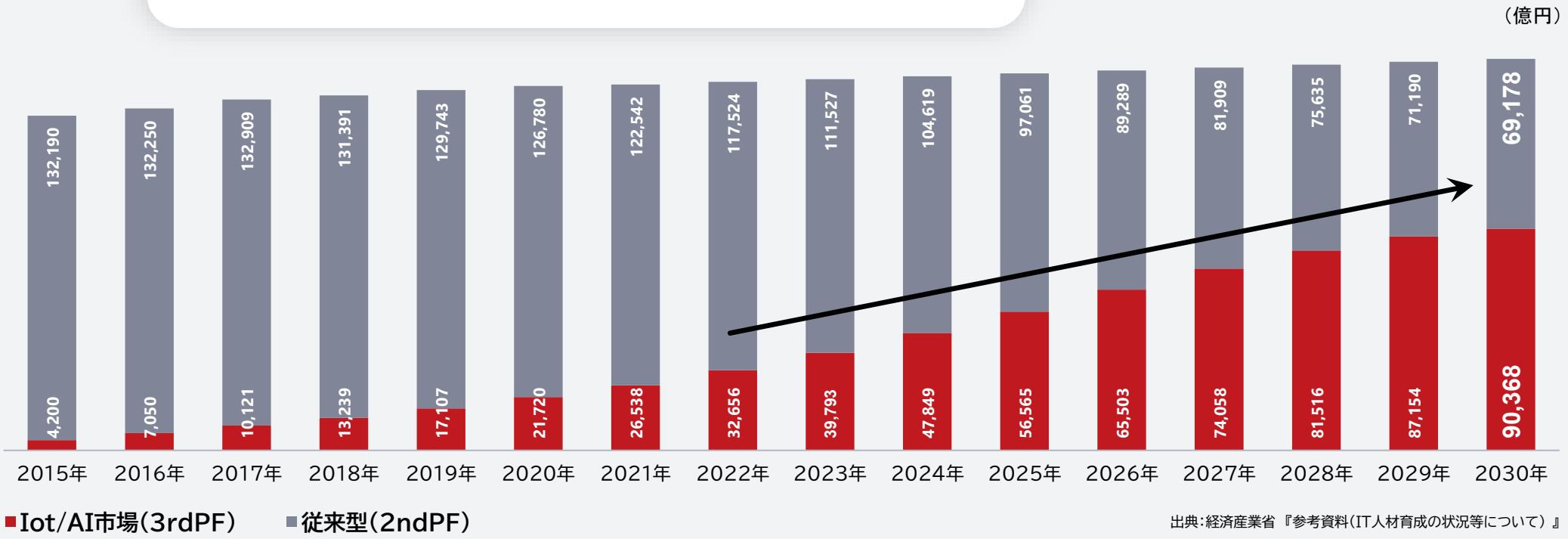
2030年
約7兆円
第2のプラットフォーム
従来型の情報システム
開発需要

2030年
約9兆円
第3のプラットフォーム
クラウド、モビリティ/ソーシャル
ビッグデータ/アナリティクス、IoT
AI関連の需要

## ITサービス市場の構造変化

**ITサービス市場は減少＝旧来のSIビジネスの減少へ**

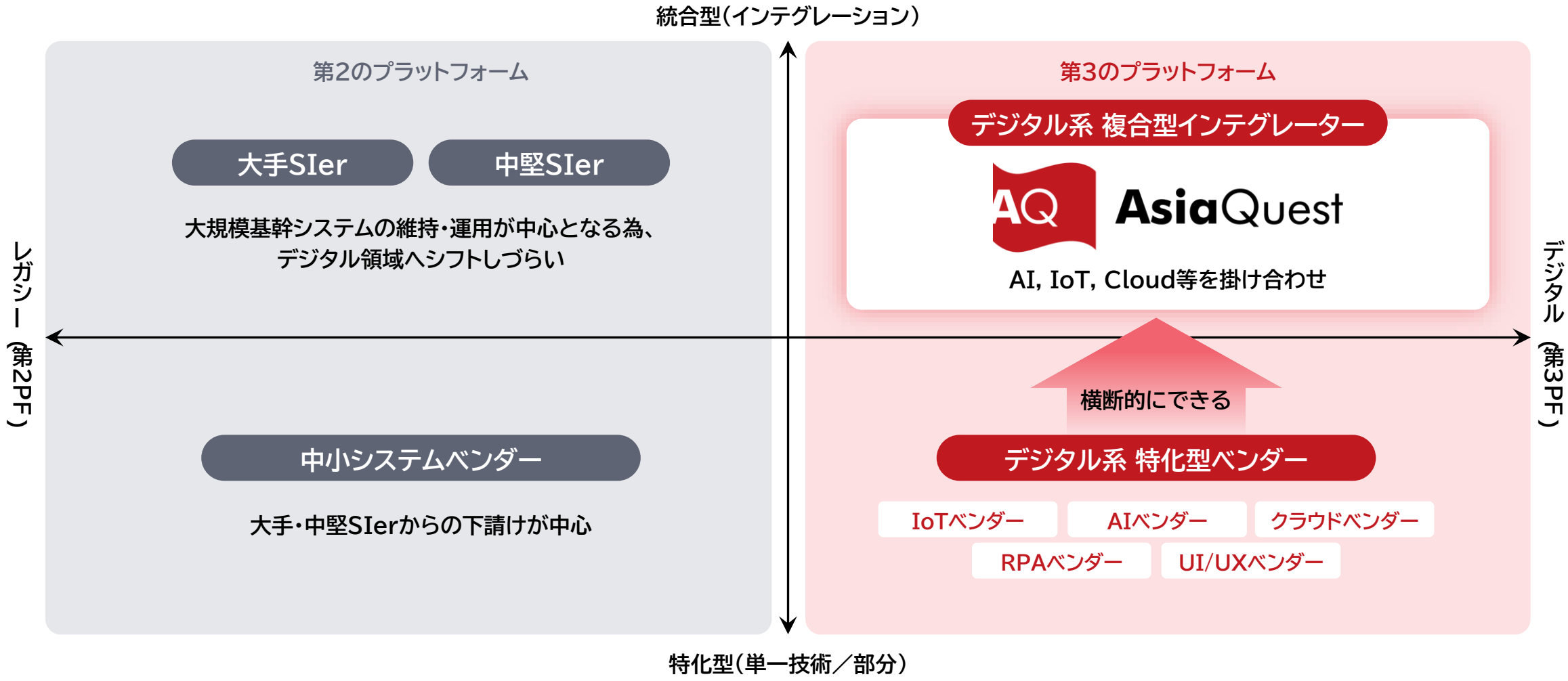
IoT/AIなどの3rdPF市場大幅増加
2020年代後半には3rdPFが過半数を超える




出典：経済産業省『参考資料（IT人材育成の状況等について）』

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 当社は複数のデジタル技術を統合してシステムを提供する複合型インテグレーター。
# 領域特化型のベンダーが多い第3のプラットフォームの中で、独自のポジションを確立。




Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# DX市場の成長に応えるケイパビリティを備える。

- 各デジタル技術分野を高い水準で網羅し、DXに必要な多分野の工程をワンストップで発注可能




- インドネシア・マレーシアでも事業展開
- 現地での顧客開拓を行い、海外市場を開拓

- 先端デジタル技術分野のデジタル人材の獲得・育成力を有する

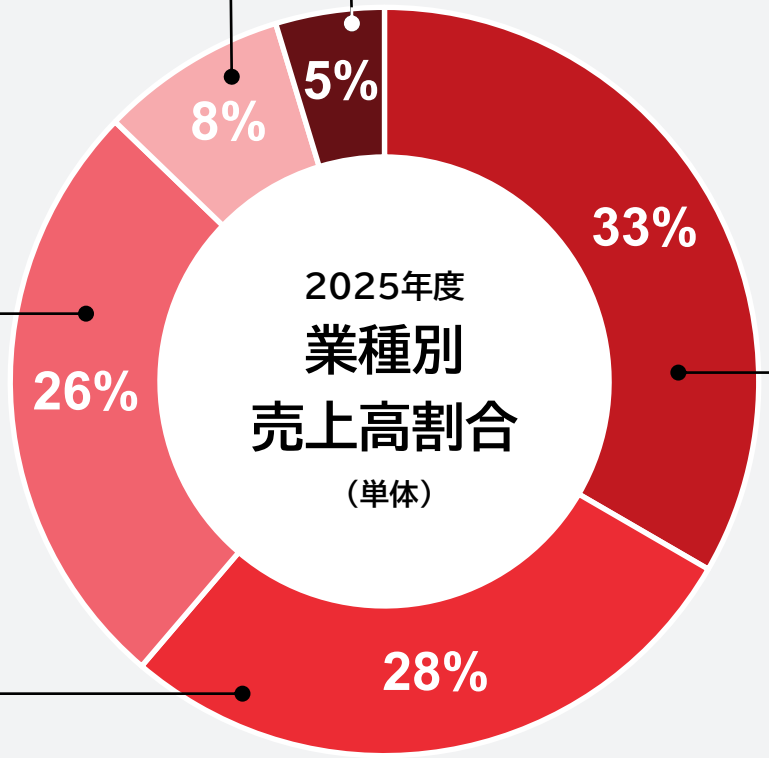
Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# DX案件を軸に多種多様な業種との取引実績があり、着実に縦・横に拡張している。
# また、2025年度のリピート率は80%超。

## 卸売・小売
- ㈱カインズ
- 三菱商事㈱ 等

## 建設・不動産
- 鹿島建設㈱
- 清水建設㈱
- 新菱冷熱工業㈱
- 大成建設㈱
- 前田建設工業㈱ 等

## サービス
- アルティウスリンク㈱
- 大日本ダイヤコンサルタント㈱
- 東海旅客鉄道㈱ 等




## 製造・その他
- 大分県別府市
- ㈱明電舎 等

## 情報通信
- 伊藤忠テクノソリューションズ㈱
- ㈱エーアイ
- NTT西日本㈱
- クラウドサーカス㈱
- ㈱電通総研
- 日鉄ソリューションズ㈱ 等

リピート率※ **80%超**

※当年度売上計上のうち既存取引先数÷前年度売上計上の全取引先数

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 02 – 2026年12月期 第3四半期業績

## エンジニア数

- 本格的なAI時代到来を見据えて、採用の一時抑制や選考基準見直し等を期中に行った結果、3Qまでで＋48名増加の432名。

## 売上高

- 上記に加えて、中長期的に事業競争力を高めるため、AI専門部署に追加で人員をシフト。
- 一部大口案件の終了・縮小とその代替えとなる大口案件の開始時期遅れ発生等で2Qの稼働率が一時的に低下するも、3Qの稼働率は回復傾向。
- 以上より、売上高は3,757百万円（前年同期比＋2.4%）となった。

## コスト

- 新卒38名入社や稼働率の低下等に伴い、販管費の人件費が増加。
- 株主優待制度開始に伴い、株主優待費用を新規計上。
- 社内のAI活用全社展開スピードを一層速めるべく、AIツールへ投資を実行。
- 以上より、営業利益は70百万円（前年同期比△77.9%）となった。

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

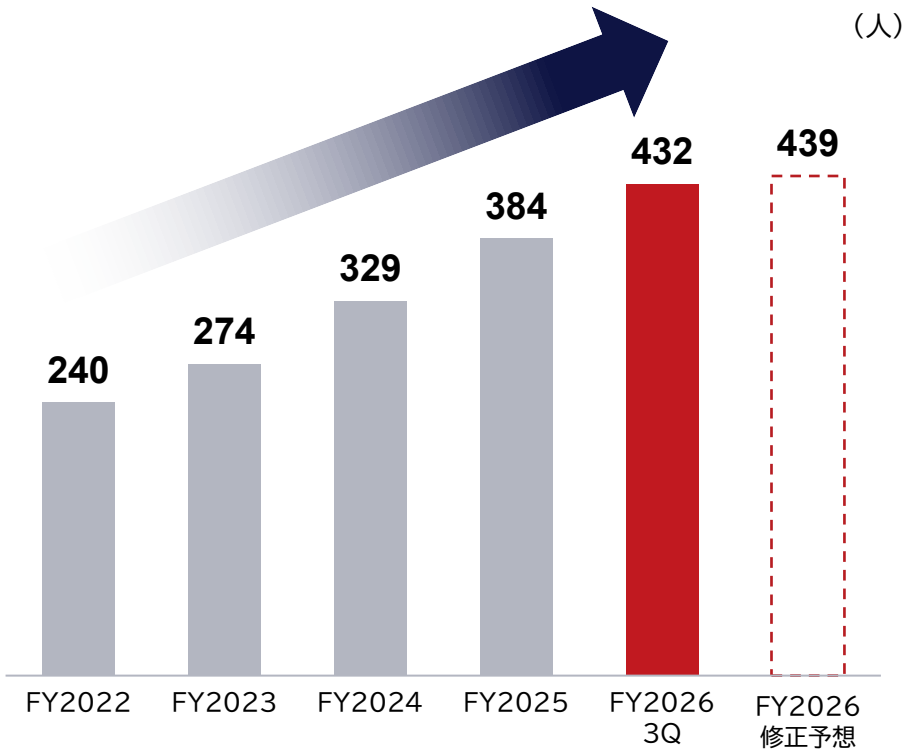
前年同期比でエンジニア数は増加も、特に2Qの稼働率が大幅低下した影響等で売上高は3,757百万円(前年同期比＋2.4%)、主に人件費の増加等により営業利益は70百万円(同△77.9%)と、前年同期比で増収・減益となった。

| (百万円) | 2025年12月期 3Q | 2026年12月期 3Q | 前年同期比 増減額 | 前年同期比 増減率 | 2026年12月期 修正予想 (2026/8/14公表) | 予実進捗率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| **売上高** | **3,669** | **3,757** | **+88** | **+2.4%** | **5,323** | **70.6%** |
| **営業利益** | **321** | **70** | **△250** | **△77.9%** | **200** | **35.4%** |
| (%) | 8.8% | 1.9% | △6.9pt | ― | 3.8% | ― |
| **経常利益** | **319** | **69** | **△250** | **△78.3%** | **199** | **34.9%** |
| (%) | 8.7% | 1.9% | △6.9pt | ― | 3.7% | ― |
| **親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益** | **205** | **20** | **△184** | **△90.0%** | **99** | **20.7%** |
| (%) | 5.6% | 0.5% | △5.1pt | ― | 1.9% | ― |

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

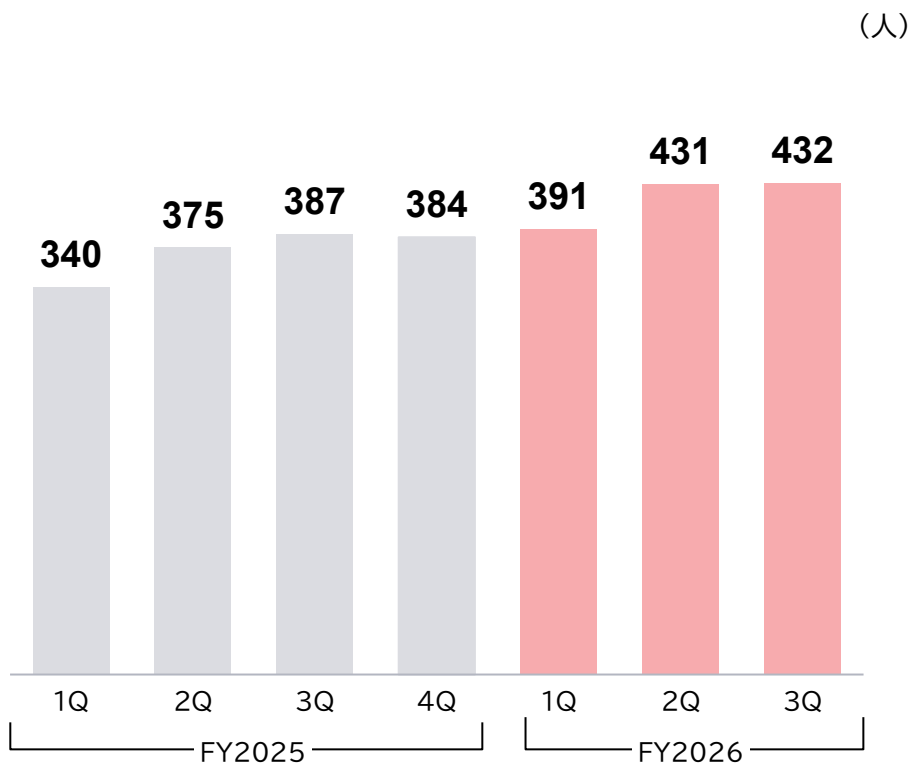
# エンジニア数は、AI時代の本格到来を見据えて、採用の一時抑制や選考基準見直し等を期中に行った結果、前期末比＋48名（うち新卒38名）。

## エンジニア数（単体）※の推移




※製造部門の事務・営業専門職を除いたエンジニア・コンサルタント等専門人材の期末人数（単体）

## 四半期エンジニア数（単体）※の推移



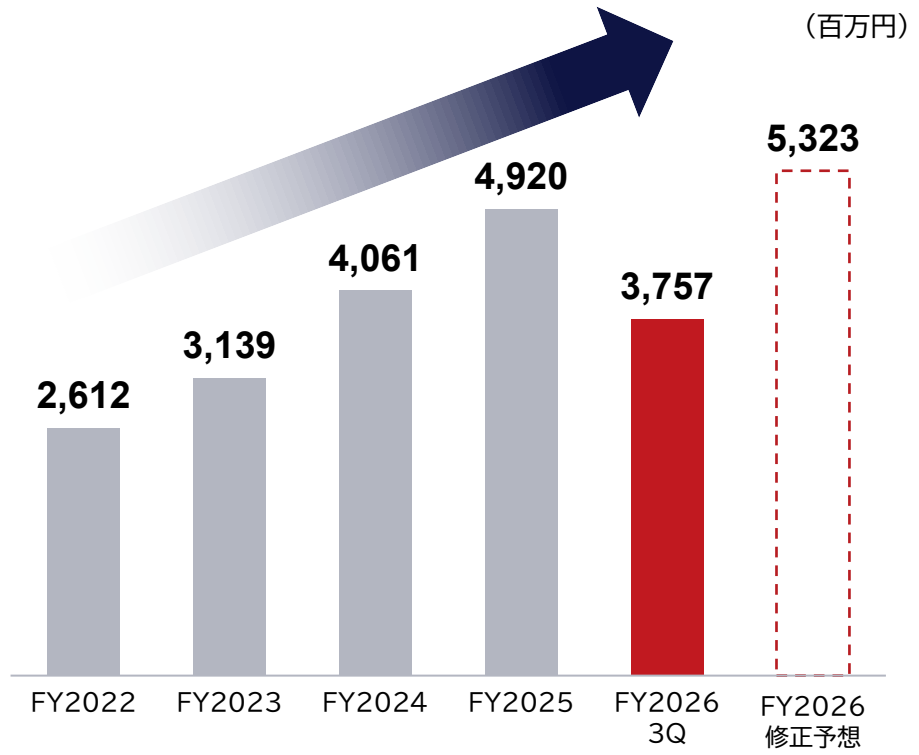

※製造部門の事務・営業専門職を除いたエンジニア・コンサルタント等専門人材の期末人数（単体）

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

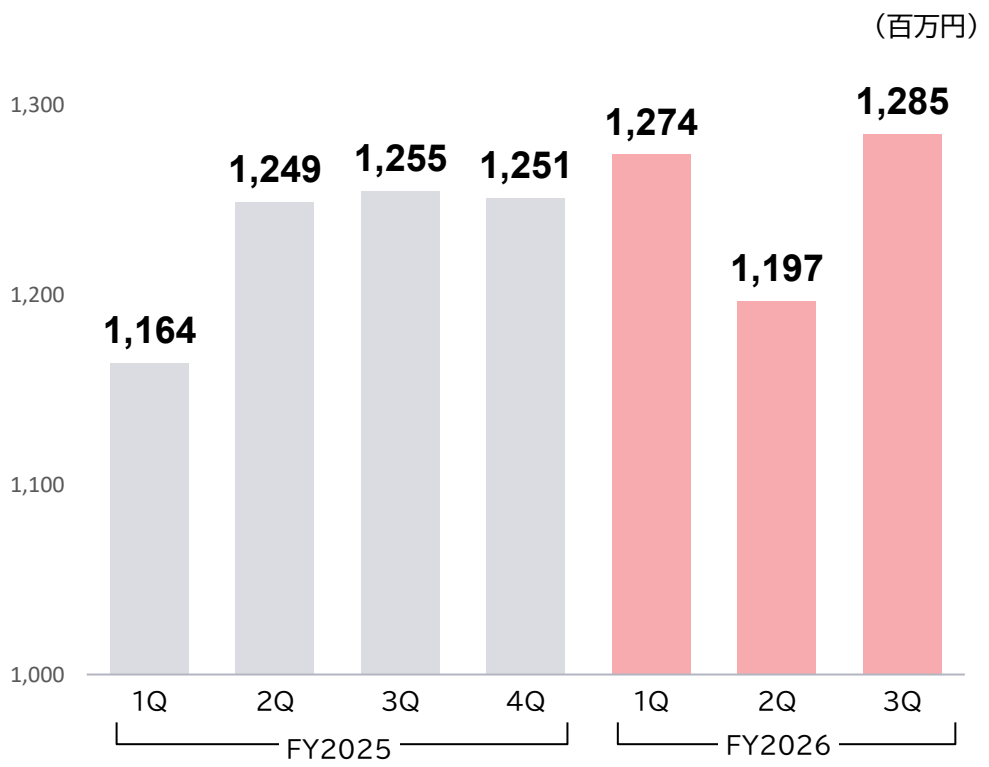
AsiaQuest

AI専門部署への更なる人員シフトに伴う案件稼働人員数減少。加えて一部大口案件の終了・縮小とその代替えとなる大口案件の開始時期遅れが発生したこと等から、2Q稼働率が一時的に低下。ただし、3Q稼働率は回復傾向であり、売上高は3,757百万円と前年同期比＋2.4%。

## 売上高の推移



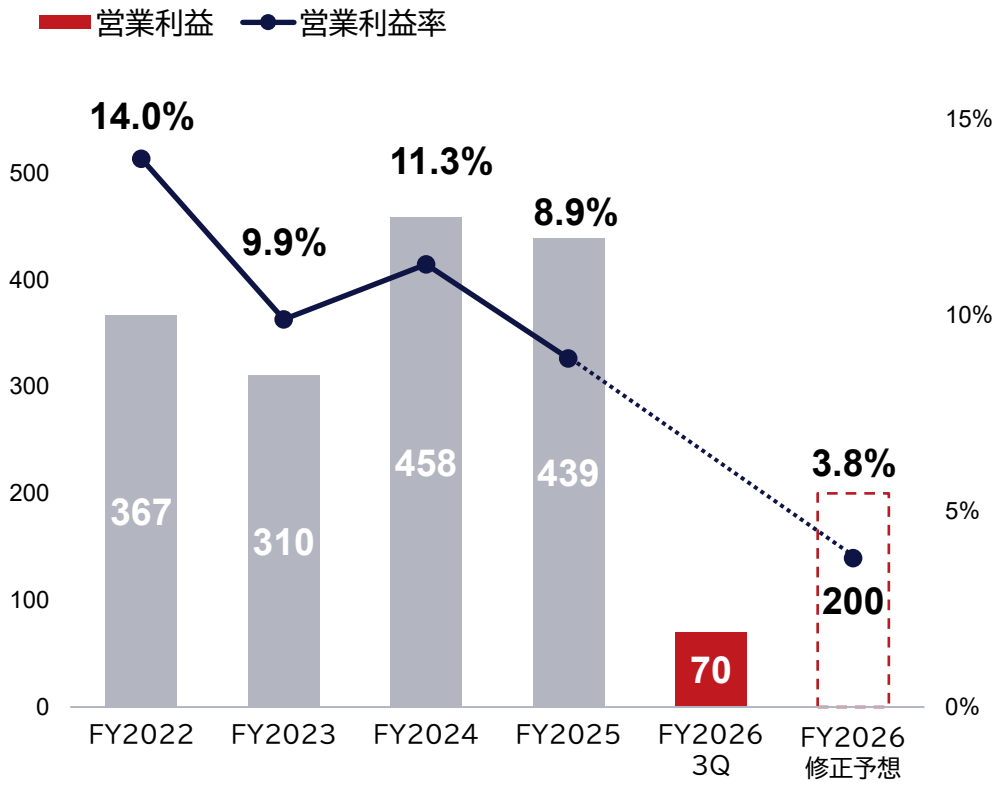

## 四半期売上高の推移



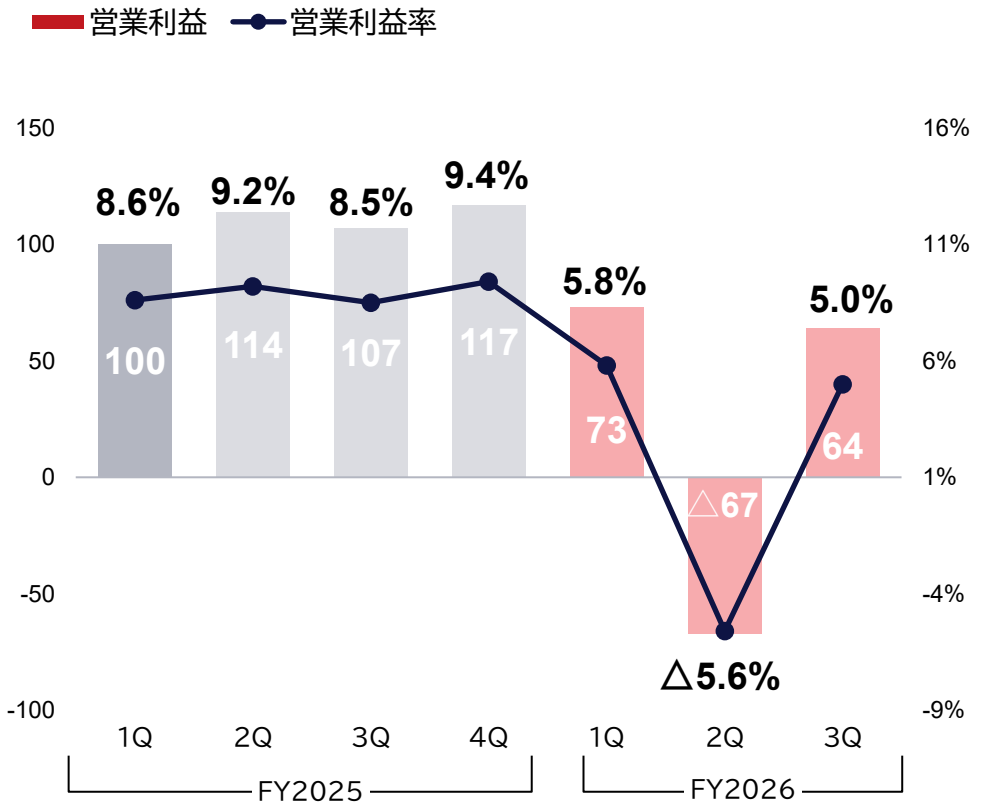

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 人員増加・賃上げに伴う労務費・人件費の増加やAIツールへの投資、株主優待費用の増加等により、営業利益は70百万円と前年同期比△77.9%の減益。

## 営業利益の推移

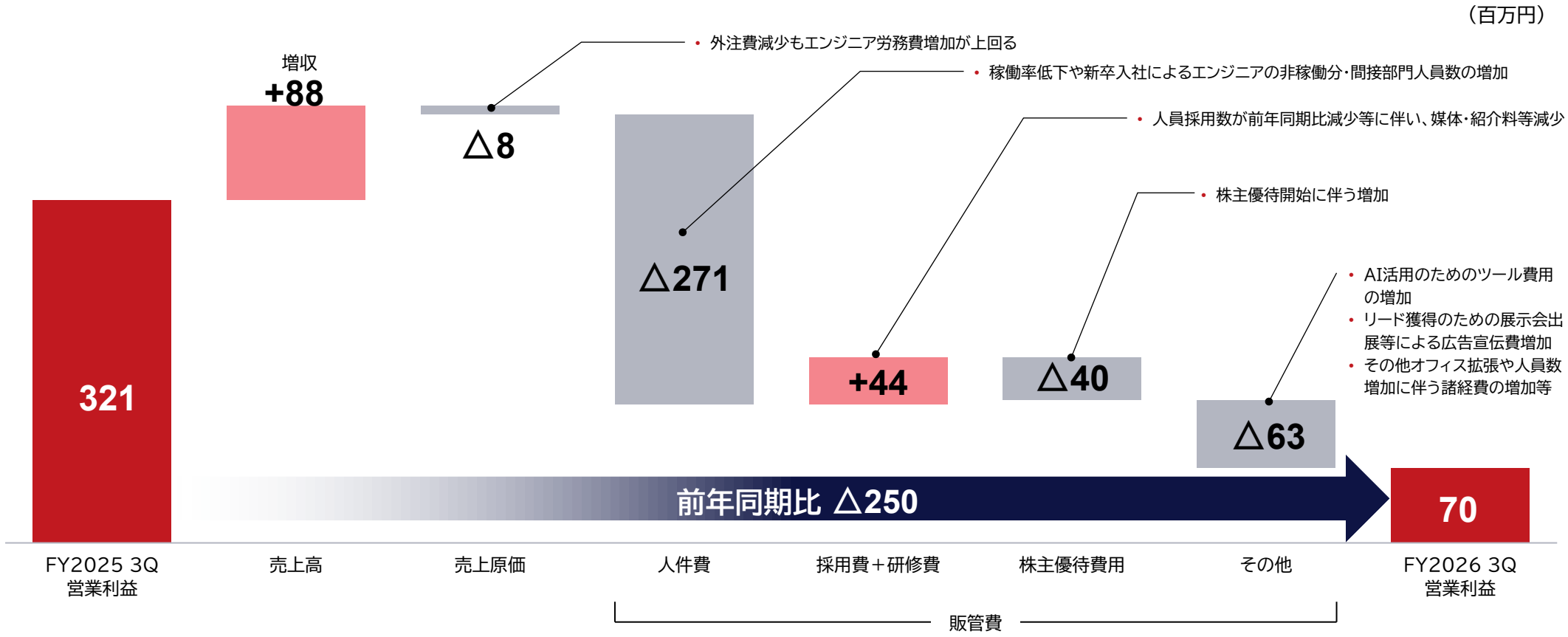



## 四半期営業利益の推移




Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 増収分が少なかったため、外注費は削減も、新卒入社や賃上げに伴う労務費・人件費の増加や株主優待費用の増加等を補え切れず、営業利益は前年同期比△250百万円。




Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 主に総資産の減少等により、自己資本比率は69.6%。

| （百万円） | 2025年12月期 | 2026年12月期 3Q | 増減額 |
|---|---|---|---|
| **資産合計** | **2,927** | **2,856** | **△71** |
| 流動資産 | 2,429 | 2,356 | △72 |
| 固定資産 | 498 | 499 | +1 |
| **負債合計** | **959** | **868** | **△90** |
| 流動負債 | 838 | 774 | △64 |
| 固定負債 | 120 | 94 | △26 |
| **純資産** | **1,967** | **1,987** | **+19** |
| **総資産** | **2,927** | **2,856** | **△71** |
| 参考 現金及び預金 | 1,462 | 1,261 | △200 |
| 参考 自己資本比率 | 67.2% | 69.6% | +2.3pt |

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 03 – 株主優待制度



# 株主還元として株主優待制度を新設。対象の株主様に対して、初回基準日を2026年6月末日として、以降半年の基準日毎に50,000円分（年2回合計最大100,000円分）のデジタルギフト®を贈呈。

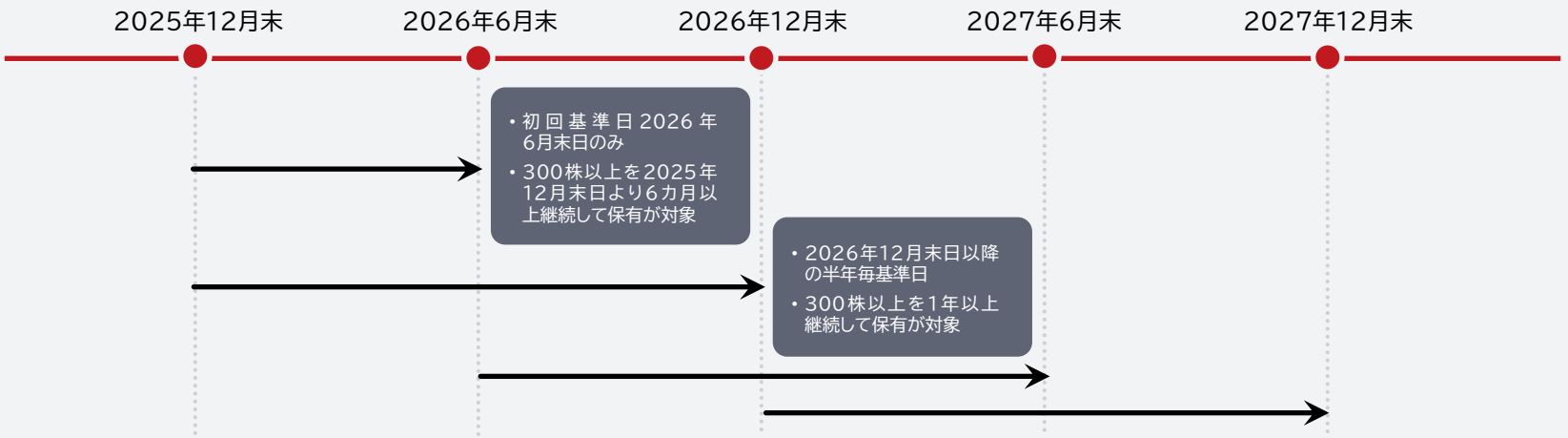
| 基準日 | 保有株式数 | 継続保有期間 | 株主優待の内容 |
|---|---|---|---|
| 12月末日 | 300株以上 | 1年以上<br>（前年12月末より継続保有） | デジタルギフト®50,000円分 |
| 6月末日 | 300株以上 | 1年以上<br>（前年6月末より継続保有）※ | デジタルギフト®50,000円分 |

※株主優待制度導入初回である2026年6月末日の基準日においてのみ、2025年12月末日より継続保有（6カ月以上継続して保有）

年2回合計

最大 **100,000円分**

**のデジタルギフト®贈呈**

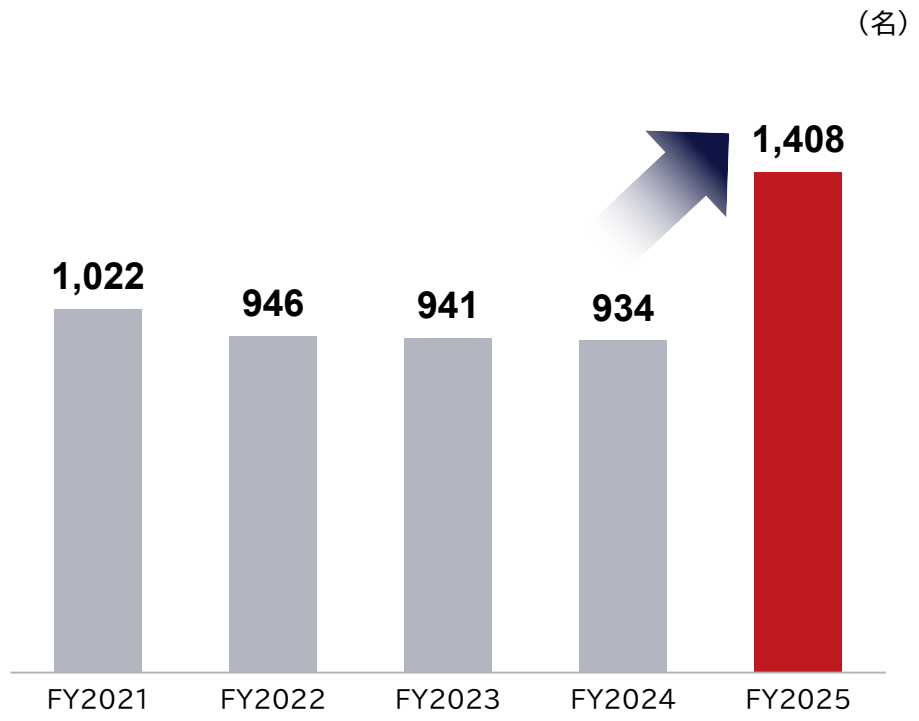



詳細については、2025年11月14日公表の適時開示資料「株主優待制度の導入に関するお知らせ」をご確認ください。
1年以上継続して保有とは、株主名簿基準日（12月末日及び6月末日）の当社株主名簿に、同一株主番号にて3回以上連続して300株以上の保有が記載又は記録されることをいいます。
また、6カ月以上継続して保有とは、株主名簿基準日（12月末日及び6月末日）の当社株主名簿に、同一株主番号にて2回以上連続して300株以上の保有が記載又は記録されることをいいます。

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 株主総数は2025年度末に約1,400名にまで増加。2026年度の株主優待費用は80百万円を見込むが、導入決定時の想定範囲内で、2025年度連結最終利益に対する割合は28%程度であり、持続可能な水準。

## 株主総数の推移




※各年度末日時点、自己名義株式を含む

## 連結最終利益に対する株主優待費用の割合

FY2026修正予想
株主優待費用

**80**百万円

FY2025実績
親会社株主に帰属する
当期純利益

**290**百万円

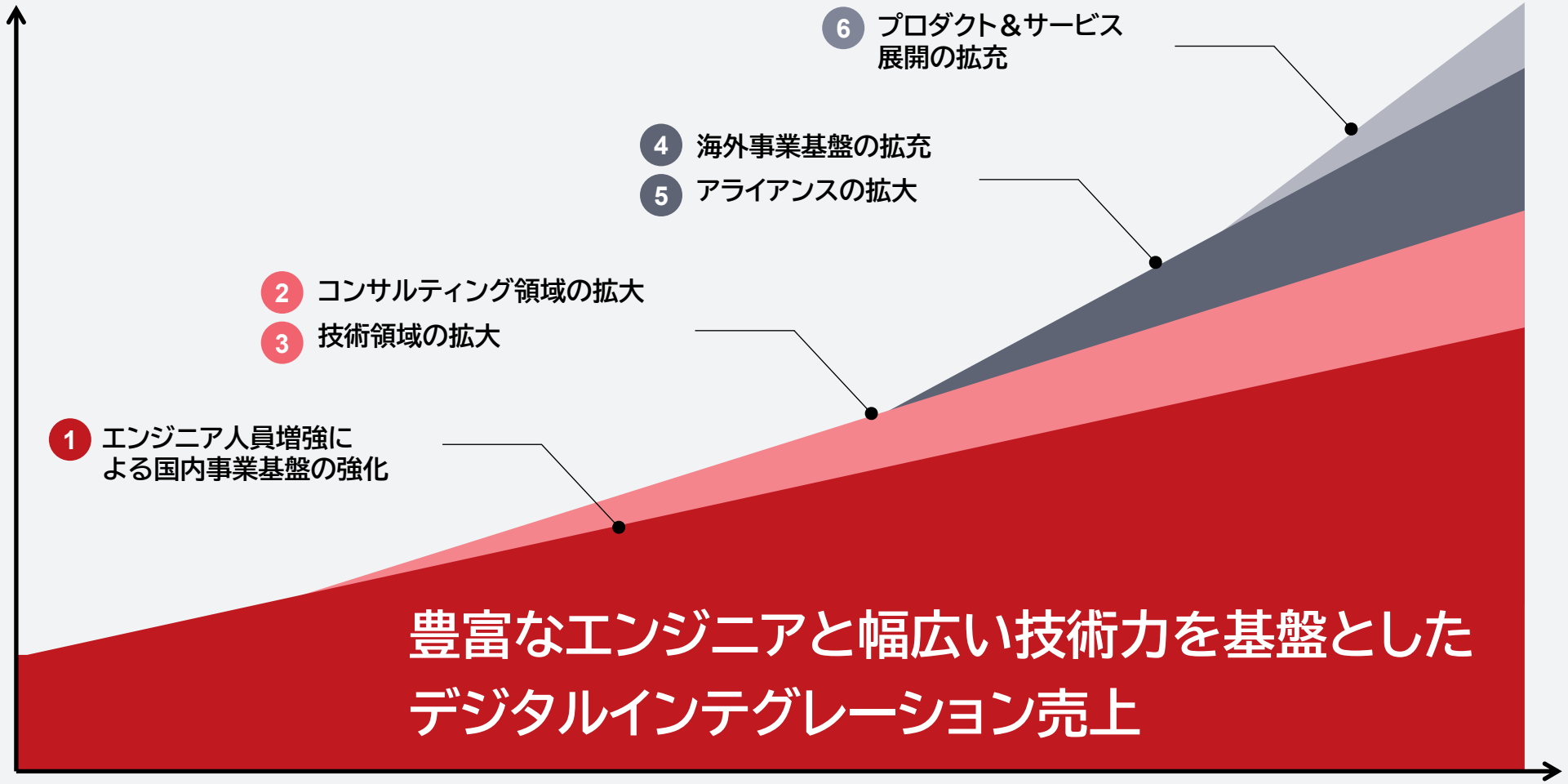
= 28%

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 04 – 成長戦略



デジタルインテグレーションを基盤に、以下の成長戦略を実行していく。




Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 6つの戦略で案件数の拡大と単価上昇の双方に対しアプローチし、持続的な高成長と収益性の向上を目指す。

## 案件数の増加

**1 エンジニア人員増強による国内事業基盤の強化**
エンジニア数は
2026年3Qで48名の増加
より上流人材への
採用方針変更

**4 海外事業基盤の拡充**
既存海外子会社の営業体制を強化、「HENNGE One」等の取り扱いサービス拡充
日本向けオフショア開発
を推進

**5 アライアンスの拡大**
AI活用に欠かせないデータ基盤構築分野の新規認定パートナー取得を推進
グループ顧客基盤拡充のため
新規にM&Aを実行

**6 プロダクト＆サービス展開の拡充**
AIエージェントと業務システムをつなぐアクセス基盤
「GAIA Governed AI Access」

×

## 案件単価の上昇

**3 技術領域の拡大**
専門部署による全社横断的なAIエージェントや生成AI等によるAI駆動開発を推進

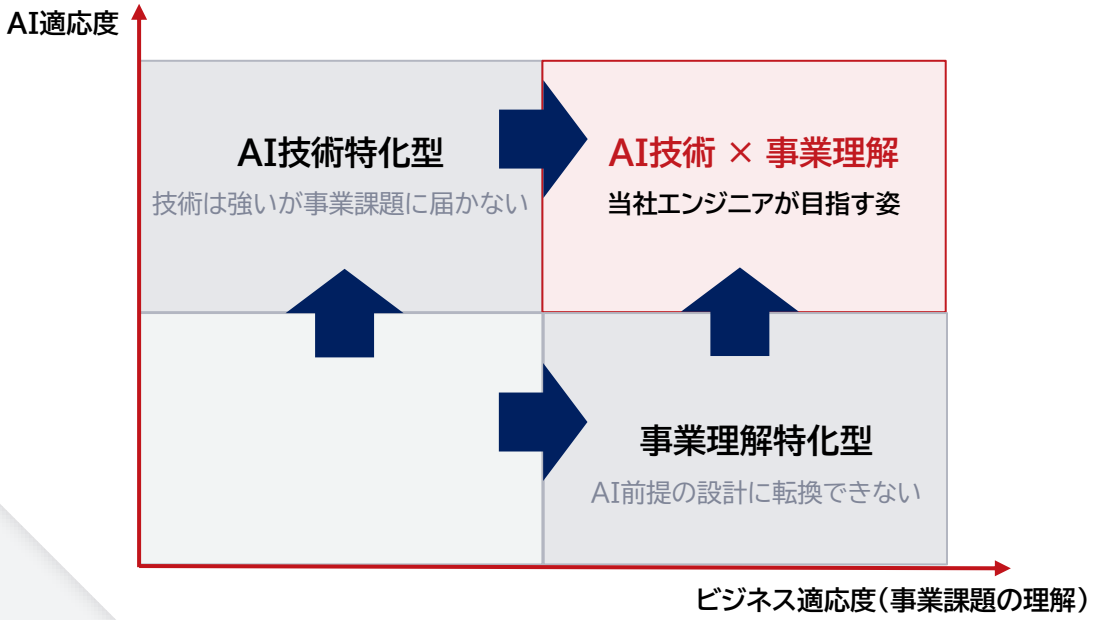
**2 コンサルティング領域の拡大**
PMO案件や
SAP領域案件の拡大

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# AI時代の到来に伴い、AI適応度とビジネス適応度を重視したうえで、デジタル人材を中心に採用・教育への取り組みを継続・強化。

## 当社エンジニアが目指す姿

- 事業課題・背景を構造化して理解できる（ビジネスエンジニアとしての能力）
- AI活用を前提に設計・開発が行える（概念化・構造化・言語化の能力）




## 採用/育成を強化する分野

| | |
|---|---|
| AIの価値を最大限引き出せる人材 | • ビジネスエンジニア<br>• 設計・レビュー能力の高いエンジニア<br>• 高度専門知見を有するエンジニア |
| AIの価値を世の中に実現させる人材 | • Biz Dev<br>• セールス/プリセールス<br>• PM/PdM |

## その他教育制度の強化・拡充

- ビジネスエンジニア研修による新規ビジネスエンジニア輩出を積極推進
- AWS・Microsoft等を中心に資格試験費用等の補助により、技術資格取得を積極推進
  **2026年度上期は約170件の新規資格取得**
  **AWSの認定資格取得数は500を突破**
  ※2025年度末時点、2024年度に廃止された3種のAWS認定資格含む
- 当社独自の教育プログラムとOJTを組み合わせることで早期戦力化
  **戦力化に必要なリードタイム2～4か月**
- 管理職向け研修の拡充
  **組織拡大に対応できる管理職人材の育成**

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# コンサル領域からアプローチすることで、新規領域開拓や上流工程領域を増やし単価上昇を実現する。
# ニーズの高いPMO及びSAP領域の案件とコンサルタントを増加させていく。

## コンサル拡大によるアプローチ先の変化　コンサルが主として上流へアプローチし、案件領域を拡大する

**既存のメインアプローチ部門**
- システム部
- 開発部
- 保守/運用部

＋

**新たなアプローチ部門**
- 経営企画
- IT戦略
- 管理本部

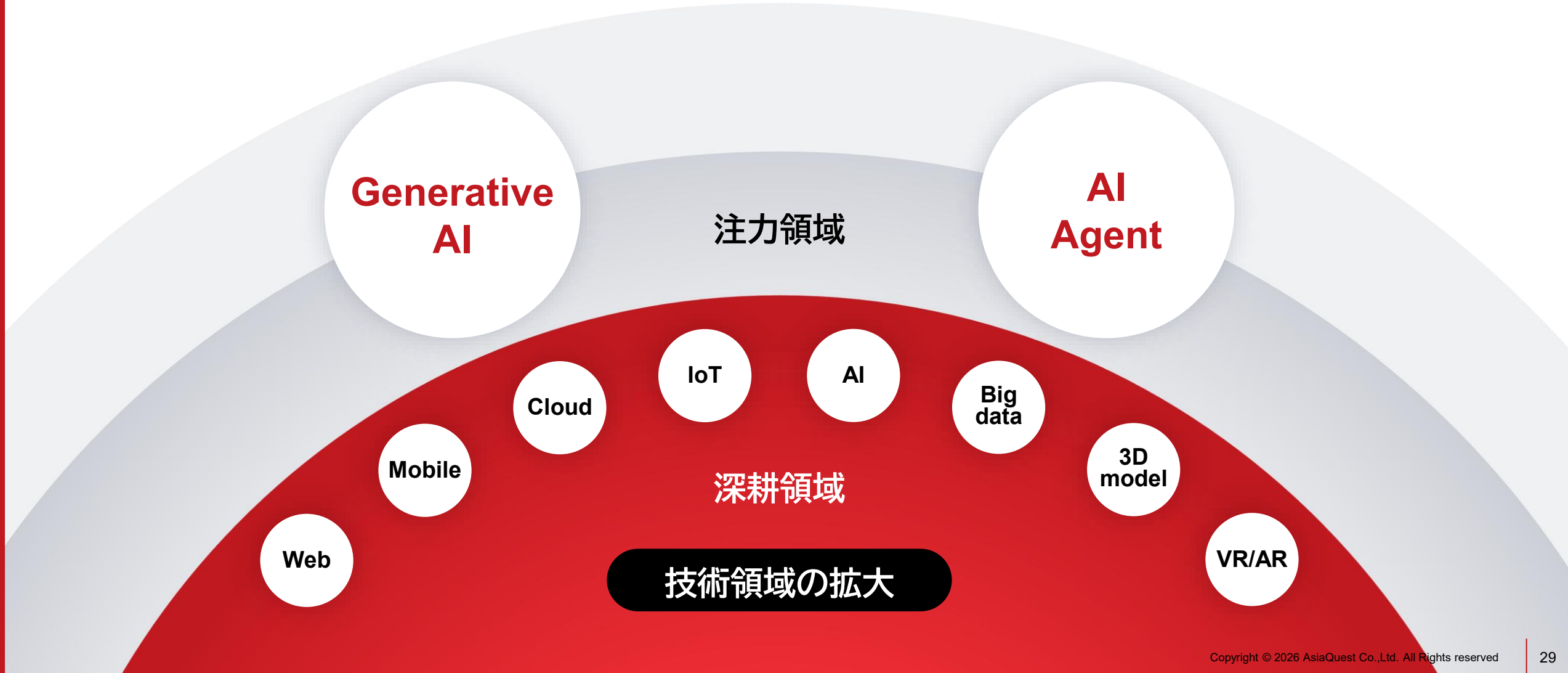
### PMO
- コミュニケーション支援
- ドキュメント作成事務支援
- PJ進捗管理支援
- PJ情報分析支援
- その他各種支援

### SAP
機会
- SAP ERPの標準保守サポート期限がせまり案件の需要が増加
- 日本におけるバイリンガル対応が可能なSAP人材の不足

**SAPの上級コンサルタントによる教育プログラムを展開し、早期育成により案件と人員を増加へ**

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

現在は特にAIエージェントと生成AIに注力。AIエージェントや生成AIは、生産性向上のための自社内部利用のみならず、AIインテグレーターとして顧客の利用もサポートしていくべく、AI専門部署を設立してリソースを投入。
今後も技術領域の深堀・拡大を図り、さらなるエンジニア一人当たり単価の上昇へ。

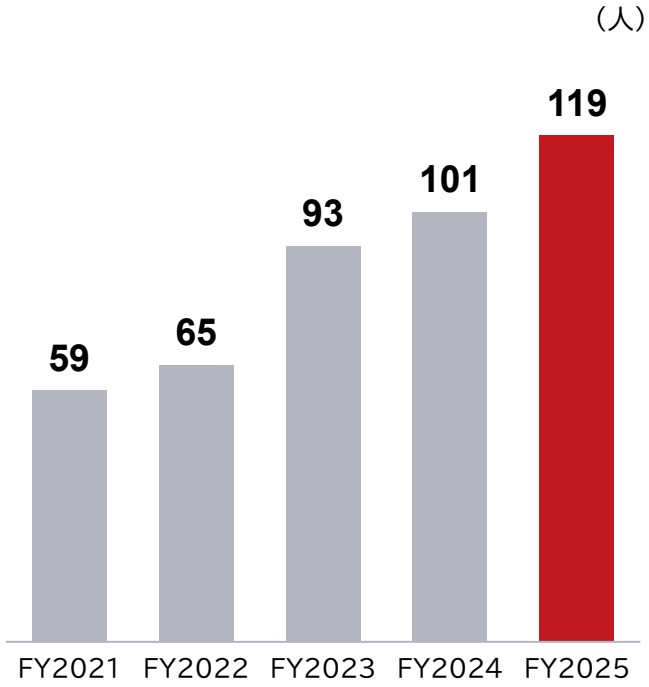



Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 当面は、進出済の子会社拠点で営業を強化、取り扱いサービス拡充等により現地日系企業・ローカル企業の深耕をしつつ、現地採用によりリソース不足である日本の親会社向けオフショア開発の割合を拡大する。

| | |
|---|---|
| **展開内容** | • 東南アジアを中心に展開<br>• 現地日系企業及びローカル企業向けにデジタル化を中心としたIT支援サービス（デジタルインテグレーション） |
| **事業機会** | • 日系企業の進出拡大（オフショアではなく現地でのデジタル化ニーズ）<br>• 現地に小回りの効く**技術力の高いベンダーの不在**（大手SIerはコスト高、ローカルベンダーは品質に不安）<br>• **優秀な人材をグローバル規模で採用可** |
| **戦略** | • 日本と海外での**クロスセル**実施へ<br>• 海外人材の日本での研修・案件参画で技術力向上へ |
| **新規展開候補国** | 既出のインドネシア、マレーシアにおける事業拡大を当面は優先<br>⇒将来的にタイ、フィリピン、ベトナム、シンガポール等を検討 |

**子会社拠点　現地従業員数※の推移**




※日本からの出向者は含まず、臨時社員を含む

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

## 2026年度は、AI活用を支えるデータ基盤構築ソリューション強化のために新規パートナーを増加させた他、㈱テトラ・コミュニケーションズをM&Aにより100%子会社化。
## 今後も事業シナジー創出の見込めるアライアンスの拡大やM&A等を積極的に検討。

カバーしていない営業地域を相互補完

**1 営業力強化**

×

**2 仕入・外注強化**

ハード/ソフトウェアの仕入チャネル拡大
外注によりエンジニアリソースを補完

### 資本業務提携

NTT西日本 ／ 当社

システムやネットワーク構築ノウハウの提供
盤石な顧客基盤を活用した顧客開拓サポート

AWS導入実績や
ノウハウの提供

**AWS以外のDXコンサルティング・IoT/AIソリューション等、当社の他の注力分野での案件も拡大中、更なるシナジー創出へ**

### パートナー例

クラウド
- aws PARTNER Advanced Tier Services
- Google Cloud Partner

EC / MA・CRM / CMS
- HubSpot
- microCMS
- EC-CUBE

CAD / 3D・BIM / CIM
- AUTODESK Platform Services Certified Partner

データ基盤
- snowflake
- databricks
- prime Number

ERP
- SAP Partner

※EC-CUBEは株式会社イーシーキューブの商標です

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 2026年11月に生命保険業界特化のITコンサルを展開する㈱テトラ・コミュニケーションズ（以下、「テトラ社」）を100%子会社化。既存顧客として少なかった生命保険業界への本格参入と、当社のAI×テトラ社のドメイン知識による高付加価値DXの提供等により、持続的な成長と収益性の向上を目指す。

## ㈱テトラ・コミュニケーションズの概要

TETRA communications

| | |
|---|---|
| 事業内容 | 生命保険会社に特化した業務・システムコンサルティング及びシステムの開発・構築・運用・保守<br>PC、サーバー、ネットワーク、セキュリティの設計・導入・キッティング・保守・サポート |
| 設立 | 2008年11月 |
| 資本金 | 10百万円 |
| 売上高 | 1,106百万円 ※2025年12月期実績 |
| 営業利益 | 82百万円 ※2025年12月期実績 |
| 純資産 | 355百万円 ※2025年12月期実績 |
| 株主 | アジアクエスト㈱100% ※2026/11/2より |

## M&Aの主な狙い

### ①生命保険業界への本格参入

- 国内大手生命保険会社に強固な顧客基盤を持つテトラ社をグループ化することで、これまでアプローチが限定的であった金融・生保業界における顧客基盤および業界知見を持つ専門人材を獲得。

### ②生保ドメイン知識 × AI・クラウドによる高付加価値化

- テトラ社の業務ノウハウに、当社の生成AI・AIエージェントやクラウド技術を融合。査定自動化や業務効率化など、生保領域に特化した高単価なAIX/DXソリューションを共同展開。

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

**直近では、特定のAIモデルや製品に依存しない中立なAIエージェントと業務システムをつなぐアクセス基盤となる「GAIA Governed AI Access」をリリース。**
**今後も機能追加を図るとともに、受託開発で蓄積してきた技術資産（経験・ノウハウや汎用的に利用可能なプログラム等）をもとにプロダクトやサービス追加開発を検討し、ストック収益積み上げを目指す。**

GAIA
Governed AI Access

AI Agent
AQ-AI Agent Series

## AI駆動開発により、当社の強みである「事業課題の発見力」を、売り切りのサービスから積み上がる知財へ変換

- **プロダクト提供のハードルが構造的に低下**
  AI駆動開発により、従来は専業ベンダーの領域だったプロダクト開発が、ビジネスエンジニア集団である当社の射程に入った
- **「事業課題 × 解決策」を知財として蓄積**
  顧客の現場で得た知見を再利用可能な資産として蓄積し、同種の課題を持つ顧客へ横展開する
- **ハイブリッド型モデルへの移行を開始**
  一過性のプロフェッショナルサービス収益の上に、プロダクトのリカーリング収益を積み上げ、収益の継続性と利益率を同時に引き上げる

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# GAIA Governed AI Accessは、社内の情報とAI活用で生まれた知見を、全社のAIが使える資産に変える情報資産基盤。

## GAIA Governed AI Accessの位置づけ

社員が使うAIが「柔軟に併用/入れ替えが可能」

Claude・ChatGPT・Copilot など

↕ 問いかけ・回答

**GAIA Governed AI Access**

**情報資産基盤**

接続 | 権限統制・記録 | 知見の蓄積

使うほど、組織の知見が蓄積される

↕ 本人の権限の範囲で参照・実行

社内の業務システム・文書に「コネクタで簡単接続」

Salesforce・Microsoft 365・kintone・freee など

## 3つの強み

**1 AI活用の知見が「会社の資産として自社環境に残る」**

社員がAIと積み上げた知見や業務手順を、承認を経て組織の知識に昇格。
担当者の異動・退職や、利用するAI製品の変更後も蓄積は失われない。

**2 データを移さず、業務の言葉で社内を横断**

稼働中の業務システムに直接つなぎ、「商談」「粗利」など業務用語で問えば
複数システムを横断して回答。データ基盤の整備を待たずに始められる。

**3 本人の権限を超えない、項目単位の統制**

AIが扱える範囲を、システム単位ではなく項目・チャンネル単位まで制限。
誰が何に触れたかをすべて記録し、全社展開に必要な統制を備える。

| 収益モデル | 展開状況 | 今後の機能拡張予定 |
|---|---|---|
| 利用者数によらない固定利用料＋導入支援費 | 2026年8月提供開始／㈱リコーと共同実証実験中 | AI利用費用の統制（開発中※） |

※ 2026年11月時点。開発中の機能の内容は変更となる可能性があります。

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 05 – Appendix

# 連結損益計算書

| (千円) | 2025年12月期 3Q | 2025年12月期 | 2026年12月期 3Q |
|---|---|---|---|
| 売上高 | 3,669,008 | 4,920,288 | 3,757,108 |
| 売上原価 | 1,870,840 | 2,519,456 | 1,879,039 |
| 売上総利益 | 1,798,168 | 2,400,832 | 1,878,069 |
| 販管費及び一般管理費 | 1,476,653 | 1,961,420 | 1,807,081 |
| 営業利益 | 321,515 | 439,411 | 70,987 |
| 営業外収益 | 2,512 | 11,073 | 4,593 |
| 営業外費用 | 4,118 | 2,945 | 6,054 |
| 経常利益 | 319,909 | 447,539 | 69,526 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 | 205,430 | 290,954 | 20,619 |

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 連結貸借対照表

| (千円) | 2024年12月期末 | 2025年12月期末 | 2026年12月期<br>3Q末 |
|---|---|---|---|
| 流動資産 | 2,218,522 | 2,429,017 | 2,356,102 |
| 現金及び預金 | 1,520,790 | 1,462,028 | 1,261,304 |
| 売掛金及び契約資産 | 614,773 | 844,010 | 980,922 |
| 固定資産 | 546,000 | 498,473 | 499,977 |
| 有形固定資産 | 288,071 | 290,113 | 263,676 |
| 無形固定資産 | 2,191 | 1,150 | 644 |
| 投資その他資産 | 255,738 | 207,209 | 235,656 |
| **資産合計** | **2,764,523** | **2,927,490** | **2,856,080** |
| 流動負債 | 930,577 | 838,794 | 774,385 |
| 買掛金 | 67,110 | 61,828 | 67,129 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 38,276 | 31,413 | 25,268 |
| 固定負債 | 145,095 | 120,783 | 94,425 |
| 長期借入金 | 134,575 | 103,162 | 82,990 |
| 純資産 | 1,688,851 | 1,967,912 | 1,987,269 |
| **負債純資産合計** | **2,764,523** | **2,927,490** | **2,856,080** |

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

## 株式会社明電舎 様

MEIDEN
Quality connecting the next

# 「構想段階から寄り添い、共に創る」明電舎のイノベーションを実現した“伴走型”開発支援



スマート保安の実現により年間の巡視点検工数を
**87.3%削減**

### 自社の製品をリモートで監視する仕組みの検討

今回のプロジェクトのきっかけはコロナ禍において、明電舎様が自社の製品をリモートで監視する仕組みの検討に着手されたことでした。電気設備の監視制御はSCADA※と呼ばれるシステムで対応していますが、設備の巡視点検や定期点検は人がアナログに行っています。人材不足が深刻化する中で、人による点検の負担を減らし、電気という産業や社会の生命線であるインフラをいかに守っていくかは、社会的意義の大きい明電舎様の課題でした。今回はその課題解決の一環として、スマート保安サービスの開発を進める中で、3Dモデルの軽量化やシステムのUI/UXに課題を感じ、Web3D開発に強みのあったアジアクエストにお声がけをいただきました。

※SCADA:Supervisory Control And DataAcquisitionの略。
変電設備などを遠隔からリアルタイムに監視・制御するシステムを指す。

### 共創×Web3D×UI/UX改善×システム開発による価値創造

アジアクエストは「単なるプログラム実装者」ではなく、開発チームの一員として明電舎様と一体となり、構想段階から課題を共に整理し、プロダクトのあるべき姿を一緒に描きながら実装する伴走パートナーとして参画しました。現場で各種製品を使用する方々からのフィードバックをもとに、要件を柔軟に見直しながら改善を重ね、誰もが使いやすいシステムづくりを「共創型の開発スタイル」で支援しています。設備に各種センサーやカメラを設置してIoT化することで、遠隔からのモニタリングを可能にします。また、蓄積されるデータを活用することで、巡視点検時の点検項目を削減して業務の効率化を図ります。さらに、保守・メンテナンス記録や図面などの関連情報をクラウド上で一元管理・共有することで、設備保全業務の省力化と高度化を実現します。

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

株式会社東海理化 様

# AWS環境のログコスト可視化・最適化
# 運用基盤の継続的改善

**コスト管理とガバナンス強化をご支援し、**
**安定した運用体制と継続的な改善を推進**



## AWSコスト増大という課題への、迅速かつ本質的な対応

東海理化様では、クラウド活用の進展に伴いAWSの利用規模が拡大する中、ログ管理サービスの「無期限保持」設定などにより、ログ蓄積・取り込み費用が月額数千ドル規模に達していました。単なるコスト削減にとどまらず、推奨される設計への見直しや、運用負荷を抑えつつ継続的に改善できる体制構築も求められる中、現状分析から改善提案・実装まで一気通貫で支援できるアジアクエストの「伴走体制」が決め手となり、ご依頼をいただきました。

## AWS × SRE × ログ分析基盤 による運用改善の一気通貫支援

アジアクエストは、課金状況の調査から改善策の提示・実装まで一貫して担当。PL1名・SE2名の体制でお客様エンジニアと共同で設計・技術判断を進め、週次定例と進捗管理ツールによるリアルタイム共有で課題対応を実現しました。具体的には、①ログ保持期間を業務要件に合わせ14～30日へ最適化、②CloudWatch Logs IAクラスへの移行による取り込みコスト圧縮、③Step Functions＋LambdaによるS3への自動転送基盤の構築、④Athena＋Glueによるログ分析基盤の整備を一体で実施。コスト削減だけでなく、検索性向上による運用の利便性についても高く評価いただきました。

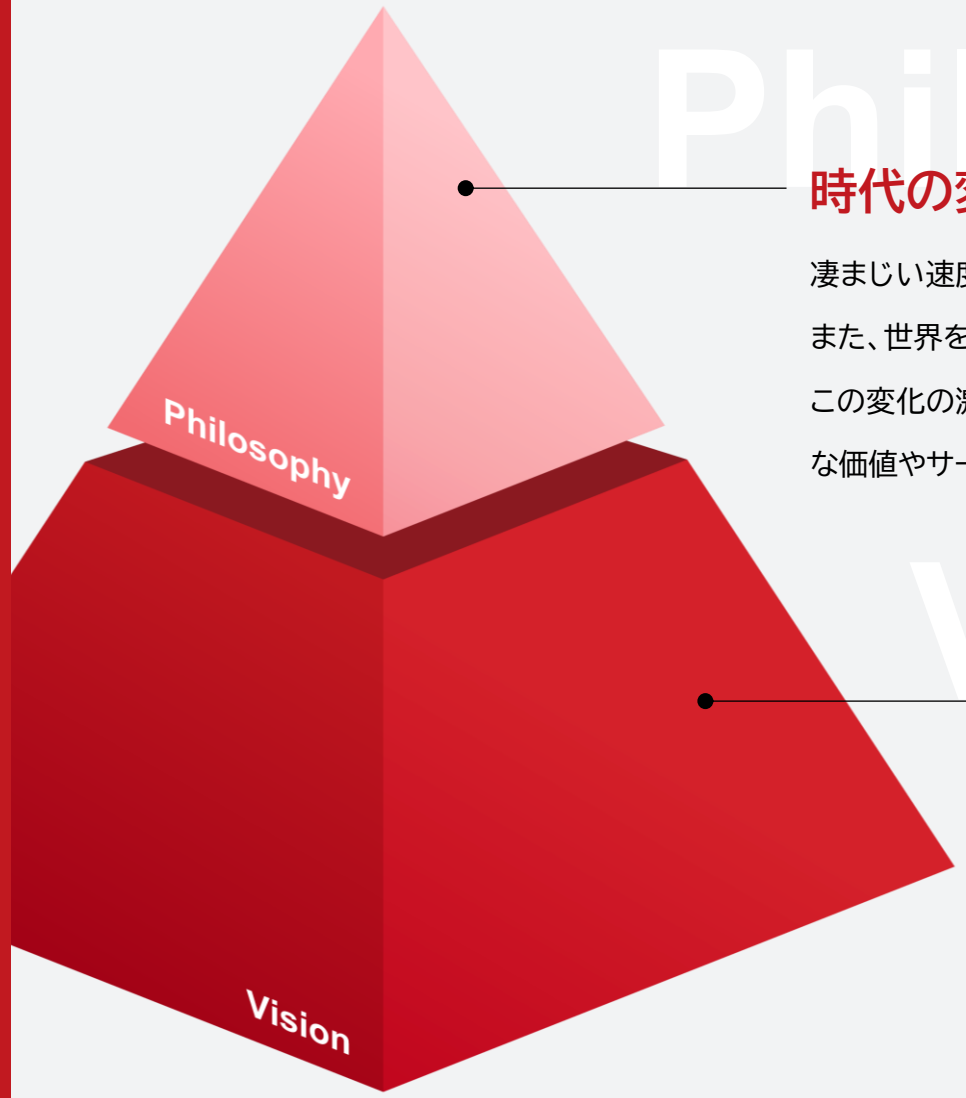
Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 企業情報

| | |
|---|---|
| 社名 | アジアクエスト株式会社 |
| 設立 | 2012年4月11日 |
| 代表者 | 代表取締役会長CEO 桃井　純　/　代表取締役社長COO 藤田 義崇 |
| 所在地 | 本社　：東京都文京区後楽2-6-1 住友不動産飯田橋ファーストタワー27F<br>福岡オフィス　：福岡県福岡市中央区天神1-14-18 天神ブリッククロス北棟14F<br>別府オフィス　：大分県別府市駅前町12-12 ANNEX KEI BL 2F<br>大阪オフィス　：大阪府大阪市都島区東野田町4-15-82 QUINTBRIDGE 3F |
| 子会社 | 日本法人　株式会社テトラ・コミュニケーションズ<br>インドネシア法人　PT.AQ Business Consulting Indonesia<br>マレーシア法人　AsiaQuest Internet Malaysia SDN. BHD. |
| ホームページ | https://www.asia-quest.jp/ |
| 資本金 | 414,358千円(2026年6月末) |
| 従業員数 | 当社単体514名　連結グループ633名（2026年6月末） |

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# フィロソフィー・ビジョン




## Philosophy

### 時代の変化の中に、無限の機会を見出し、そこに価値を提供していくこと

凄まじい速度で技術は進化しており、技術の進化によって人々の生活や働き方は今まで以上に大きく変わっていきます。
また、世界を取り巻く環境や、国内の人口構成も深刻なほどに大きく変化していきます。
この変化の激しい時代において、私達はいかなる変化もポジティブに受け止め、変化の中にチャンスを見出し、そこに適切な価値やサービスを提供していくことで、変わりゆく時代をより素晴らしく、より快適なものにしていきたいと思っています。

## Vision

### 速く、強く、おもしろく　Fast, Powerful, Exciting

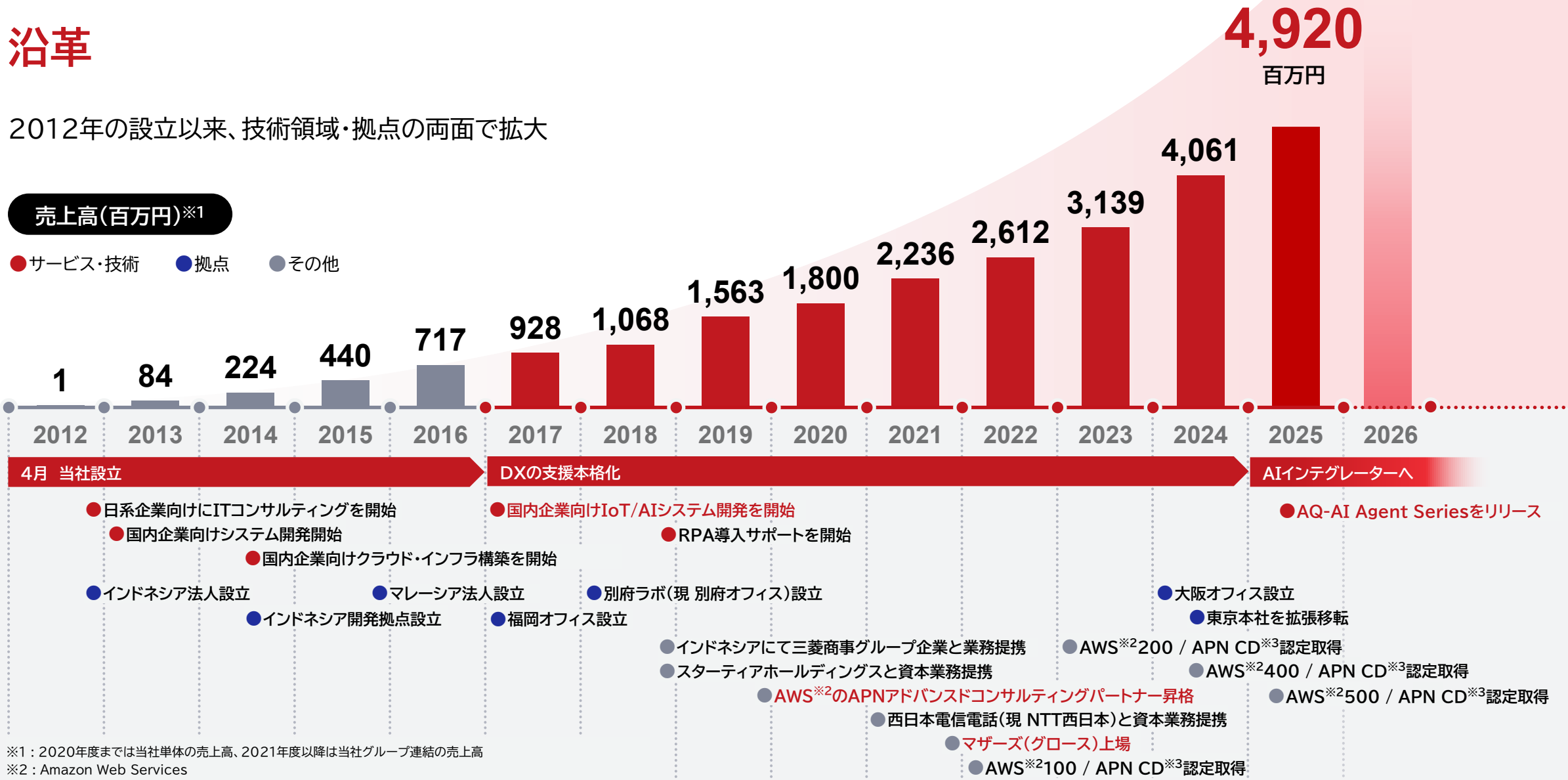
「より速く、より強く、そしておもしろく」世界を変えていきたい。私達自身がそうありたい。
変化し続ける世界で、ワクワクや夢を大事にしたい。そんな想いを込めたビジョンです。

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

AsiaQuest

# 沿革

2012年の設立以来、技術領域・拠点の両面で拡大




※1：2020年度までは当社単体の売上高、2021年度以降は当社グループ連結の売上高
※2：Amazon Web Services
※3：APN Certification Distinctionの略
AWS Partner Networkパートナー企業のAWS認定資格取得数が一定数に達するごとに AWS より認定されるもの

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

# 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。
- これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されたものにすぎません。
- さらに、これらの記述は、現在における見込み、将来の結果や業績を保証するものではありません。
- このような将来予想に関する記述には、リスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。
- これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。
- また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。

Copyright © 2026 AsiaQuest Co.,Ltd. All Rights reserved

AsiaQuest

Empower to Change

**アジアクエスト株式会社**

〒102-0004 東京都文京区後楽2-6-1住友不動産飯田橋ファーストタワー27階

TEL:03-6261-2701 / FAX:03-6261-2702